

公開講座 講師インタビュー

講座番号34「書道に親しむ かな講座（上級）」

担当講師 瀬川 賢一 准教授

「日本語の美しさを、筆で感じる。『散らし書き』の魅力」

今回の上級者向けかな書講座では、
かな書の魅力や「散らし書き」の表現方法について、
講師を務める瀬川先生にお話を伺いました。
かな書の楽しさや講座への思いを語っていただきました。

01 今回の上級者向けかな講座では、どのようなテーマや見どころを予定されていますか。

かな書の最も適した表現方法である「散らし書き」について学んでいきます。

02 この講座は、どのような経験や目標を持つ方に特におすすめですしょうか。

短歌や俳句を書道半紙に美しく「散らし書き」する、その表現方法に興味のある方であればどなたでもご参加いただけます。

03 上級者向け講座だからこそ、受講者に意識してほしいことや、楽しんでほしいことはありますか。

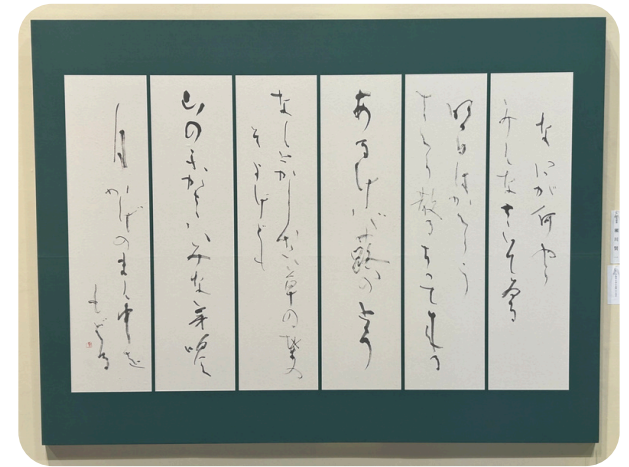
かな書の最も適した表現方法が「散らし書き」であると思います。俳句や短歌を、様々な美しい「散らし書き」で表現する方法を身につけていただきたいと思います。

04 かな書を長く学び続けることで、技術面以外にも得られる魅力や楽しさがあれば教えてください。

日本語の美しさを味わい、体感し、それをより美しく表現していくことへの楽しさを持っていただきたいと思います。

05 今回取り上げる古典や教材には、どのような魅力がありますか。

比較的読みやすいスタイルでの書き方が魅力ではないかと思います。



06 長年かな書を指導される中で、「学び続ける人」に共通して感じることがあれば教えてください。

かなは「さらさらと・・・」「やさしい」というイメージを持たれる方が多いですが、実際筆をとってみると、強靱な線で紙面を切り裂いていく感覚に目覚められます。表面的には柔和でありながらも内に秘める強靱な強さ、日本人の元々持ち合わせている強さを、かな書にも感じていただけたら幸いです。

07 受講された方には、講座を終えた後、どのような気づきや変化を持ち帰ってほしいとお考えですか。

「こうしなければいけない」ということは何も無く、自ら見聞きする中で表現の幅を広げていけることの素晴らしさに気づいてもらいたいと思います。

08 受講を検討されている皆さんへ、メッセージをお願いします。

少しでもかなの「散らし書き」に興味のある方は、気軽に受講してみてください。必ず楽しかった！もっとやってみたい！と思っていただけるよう、頑張ってお伝えしていきたいと思います。

瀬川 賢一（せがわ けんいち） 表現活動教育系 美術・書道教育部門 准教授

かな作家、日展会友、日本書芸院評議員、読売書法展理事、臨池会執行部研究部長

【研究・活動内容】かな書作品制作、書写書道教育等の研究

【大学担当授業】仮名書法演習Ⅰ、Ⅱ・書道概論Ⅰ、Ⅱ・書道科教育法Ⅰ、Ⅱ

講座詳細はこちら https://osaka-kyoiku.ac.jp/liaison/lifetime/open_course/
「大阪教育大学公開講座」で検索！

